

身に付けましょう。プロジェクトのスケジュールが守れそうにない時は例えば上司にこう相談します。

I have a problem. Our project schedule is slipping. We had a lot of sick leaves last week. Could we delay our delivery date by a week?

すると上司は相談に乗ってあれこれ助言してくれるでしょう。こんなときただ「何とかしろ」と言う上司は部下に尊敬されません。仕事の経験が豊富な上司なら的確な助言ができるはずです。

《年齢が上というだけで人を使えるのは日本と韓国だけだそうで、これは儒教（Confucianism）の教えらしいです。エンジニアの上司となる人間は、人間関係だけでなく工学的な問題の解き方も助言できる経験と能力が求められます。人に好かれる人柄であることは当然として、そのほかに部下を平等に扱うことや、部下の相談に乗れるだけの経験と専門知識が必要となります。ITの世界は進歩が速いので、上司にもそうした進歩に付いていく姿勢が大切です。人を動かすのは論理ではなく感情、特に尊敬の念ですので、管理職は回りの人から尊敬される人間になる必要があります。そのためには普段から回りの人を尊敬し、自分と同等の人間として扱う気持ち

が必要です。どんな人にも自分より優れた何かが必ずあります。パワハラはもってのほかです。》

英語で仕事することで、効率が上がる部分もあれば下がる部分もあります。例えば英語では上下関係に関わらず単刀直入に質問ができます。でも答える方に十分な表現力がないと結局何を言っているのか分からない、という結果になります。自分の英語力が足りないと孤立することすらあります。英語で相談相手になれるようエンジニアの上司はよりいっそうの練習が必要です。身体言語も上手に使って表現力を高めましょう。

《会社では仕事のプロセスを重視します。誰が何をいつまでにどうするかという段取りを前もって決めておくのがプロセスです。仕事のやり方をテンプレート化するとプロセスになります。そのプロセスを実行するのに必要な道具をハードやソフトで実現します。人間は間違える動物ですから、チームで仕事して個々のエンジニアを孤立させないようにします。相互に相談したり成果物をレビューして全体としての品質を高めます。これがデザイン・レビューやコード・レビューをする理由です。それでもいずれ見落としは起きます。そうしたらまずプロセスを修正します。すぐに人のせいにははい